## 2月28日（金）

自分で自分を値踏みし、裁(さば)くのはやめなさい。

それは、あなたの役目ではないからだ。

とりわけ、他人と自分を比べるのはやめること。

そんなことをしても、優越感か劣等感を抱くだけだ。ときには、その両方が混在した気持ちになることもある。

わたしは、わたしのすべての子どもたちを、それぞれぴったりあった道に導いている。

比較することは、単に間違っているだけではない。なんの意味もないことだ。

いくら自分を認めてほしいからといっても、あなた自身や他人の評価といった間違ったところにそれを求めてはならない。

真の容認は、ただ、わたしの無条件の愛からしか生まれないからだ。

クリスチャンの中には、わたしのことを、自分たちの欠点や失敗を怒りに満ちて探り出す決して、喜ばすことのできない裁判官だと考えている者がたくさんいる。

これほど真実からかけはなれていることはないのに！

わたしは、あなたの罪を贖(あがな)うために死んだ。**あなたに、わたしの救いの衣(ころも)を着させるために……。**

わたしの目に映えるあなたは、**わたしの正義の礼服をまとって輝いている。**

わたしはあなたを怒りにまかせて懲らしめるわけではない。あなたを嫌悪しているものでもない。

それは永遠に続くわたしとの、顔と顔をあわせるほどの親しい関係にあなたを備えるためのものなのだから……。

わたしの愛に身をゆだね、恵みの王座からとめどなくあふれ出るわたしからの容認を受け取りなさい。

−+:−+−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+

【新改訳 2017】

ルカ 6:37

さばいてはいけません。そうすれば、あなたがたもさばかれません。人を不義に定めてはいけません。そうすれば、あなたがたも不義に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦されます。

ヨハネ 3:16

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:17

神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

イザヤ 61:10（NASB）

私は【主】にあって大いに楽しみ、私のたましいも私の神にあって喜ぶ。主が私に救いの衣を着せ、正義の外套をまとわせ、花婿のように栄冠をかぶらせ、花嫁のように宝玉で飾ってくださるからだ。

箴言 3:11

わが子よ、【主】の懲らしめを拒むな。その叱責を嫌うな。

箴言 3:12

父がいとしい子を叱るように、【主】は愛する者を叱る。